

取組実績については、以下のとおり

i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
戸別訪問の実施件数	7	7	7	—	7

※R2戸別訪問代替: 広報誌全戸配布

ii) 耐震診断実施者に対する耐震化促進

資料編のとおり

iii) 改修事業者の技術力向上

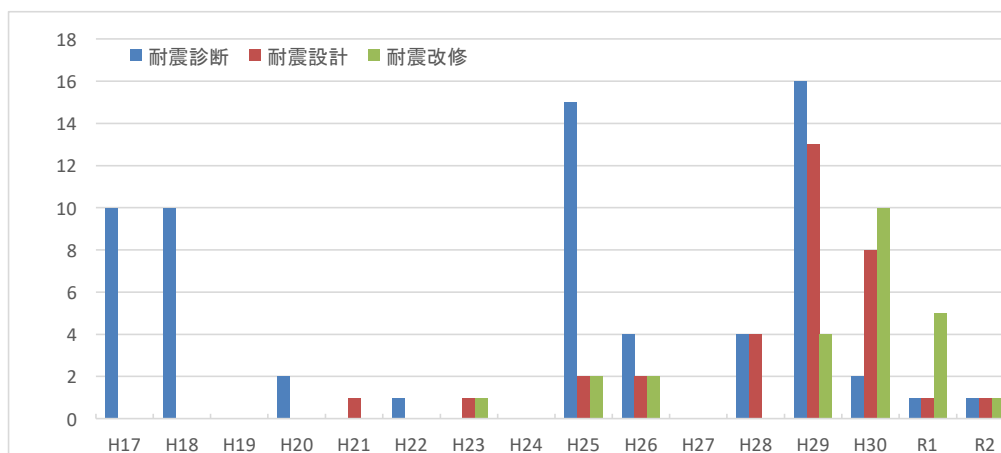
	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
耐震診断士講習会	2	2	4	2	2
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	1	2	2	2	2
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	3	3	3	0	3
耐震改修技術学校	4回× 2会場	3回× 1会場	4回× 1会場	0	4回× 1会場
耐震補強工事实務講習会	4	5	—	—	—

iv) 一般への周知普及

	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
広報誌等への掲載	4	4	4	4	4
庁舎内パネル展示	—	7月	7月	10月	8月

耐震改修の実績

(棟数)	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
耐震診断	16	2	1	1	
耐震設計	13	8	1	1	
耐震改修	4	10	5	1	3



前年度の取組内容

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で戸別訪問が実施できず、村内放送及び広報誌周知となった。馬路村の文化祭で、住宅耐震のブースを設置し、パネル展示や耐震診断の申込受付を行った。庁舎内で、10月に1週間程度相談ブースを開設。

見えてきた課題

耐震しなければならないことは認識しているが、診断や改修時に荷物の整理をしなければならないことや、大改修になり自己負担額が増大してしまうことが不安であり、改修に踏み出せない。

今年度の取組内容

今年度もイベント等に住宅耐震ブースの出展を行い、引き続き各種補助制度を積極的にPRしていく。新型コロナウイルスに対する感染状況を注視しながら戸別訪問を行う。

